

平成16年第3回藤岡市議会定例会会議録(第3号)

平成16年6月21日(月曜日)

議事日程 第3号

平成16年6月21日(月曜日)午前10時開議

第1 議会運営委員会経過報告

第2 陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情

第3 請願第1号 乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書提出の請願

第4 議員提出議案第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（23人）

1番	安田 肇 君	2番	橋本 新一 君
3番	串田 武 君	4番	湯井 廣志 君
5番	斉藤 千枝子 君	6番	三好 徹明 君
7番	反町 清 君	8番	佐藤 淳 君
9番	茂木 光雄 君	10番	松本 啓太郎 君
11番	片山 喜博 君	12番	冬木 一俊 君
14番	神田 省明 君	15番	木村 喜徳 君
16番	針谷 賢一 君	17番	青柳 正敏 君
18番	坂本 忠幸 君	19番	塩原 吉三 君
20番	清水 保三 君	21番	隅田川 徳一 君
22番	大戸 敏子 君	23番	吉田 達哉 君
24番	久保 信夫 君		

欠席議員 なし

説明のため出席した者

市長	新井 利明 君	助役	関口 敏 君
収入役	堀越 清 君	教育長	岡田 要 君
企画部長	茂木 政美 君	総務部長	金井 秀樹 君
市民環境部長	有我 亘弘 君	健康福祉部長	吉澤 冬充 君
経済部長	荻野 廣男 君	都市建設部長	須川 良一 君
上下水道部長	三木 篤 君	教育部長	水越 清 君
監査委員			
	齋藤 稔一 君		
事務局長			

議会事務局職員出席者

事務局長	高橋 寛	参事兼議事課長	田島 均
課長補佐兼			
	山形 常雄		
議事係長			

午前10時15分開議

議長（佐藤 淳君） 出席議員定足数に達しました。

これより本日の会議を開きます。

第1 議会運営委員会経過報告

議長（佐藤 淳君） 日程第1、議会運営委員会経過報告であります。

議会運営委員会委員長の報告を求めます。委員長反町清君の登壇を願います。

（議会運営委員会委員長 反町 清君登壇）

議会運営委員会委員長（反町 清君） ご指名を受けましたので、議会運営委員会の経過について報告申し上げます。

議会運営委員会は、議長の要請により本日、議会開議前に委員会を開催し、本日の日程と追加されます議案の取り扱いについて協議したのであります。

追加されますものは議員提出議案1件であります。この取り扱いについては、日程表にもありますように日程第1、議会運営委員会経過報告終了後、日程第2、陳情第2号は総務常任委員会に、日程第3、請願第1号は教務厚生常任委員会にそれぞれ付託されておりますので、付託請願、陳情の審査報告を各委員長から報告願った後、質疑、討論、採決を願います。日程第4、議員提出議案第1号については、単独上程、単独審議、委員会付託を省略し、即決していただくことに決定いたしました。

以上をもちまして議会運営委員会の経過について報告を終わります。

議長（佐藤 淳君） 議会運営委員会委員長の報告が終わりました。

ただいま報告のありましたとおり今後の議事運営を行いますので、ご了承願います。

第2 陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情

議長（佐藤 淳君） 日程第2、陳情第2号地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情を議題といたします。

総務常任委員会委員長の報告を求めます。委員長茂木光雄君の登壇を願います。

（総務常任委員会委員長 茂木光雄君登壇）

総務常任委員会委員長（茂木光雄君） ご指名を受けましたので、去る6月7日の本会議におきまして総務常任委員会に付託されました陳情1件に対する審査の概要と結果についてご報告を申し上げます。

本委員会は、6月10日、市長、助役並びに関係部課長の出席を求め委員会を開催し、慎重審査したのであります。陳情第2号地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情についてご報告申し上げます。

この陳情は、自治労群馬県本部中央執行委員長田中興一氏から提出されたものであります。陳情の趣旨は、政府は2003年6月の閣議決定で、2006年度までに国庫補助負担金4兆円の廃止、縮減、税源移譲、地方交付税の総額抑制の三位一体改革を進めることが確認され、2005年度予算については6月の経済財政諮問会議で提出される予定の骨太方針第4弾を受けて新年度概算予算が開始されることになり、新年度予算における三位一体改革が効率性や財政コスト削減という観点だけでなく、地域住民が安心して暮らすのに欠かせない事業の確保や公共サービスの持つセーフティネット機能が担保され、地方への負担の押しつけを行うことのないよう国の関係機関等に対し、地方財政の充実・強化を目指す立場から、地方財政の充実・強化を求める意見書に基づき強く求めていただきたい旨の陳情であります。

質疑の主なものについて申し上げます。税源移譲という中で、地方交付税の総額抑制、国庫補助負担金の減額がされると藤岡市としてどのような影響があるのか伺いたい。三位一体改革による藤岡市の影響度については、平成16年度の当初予算を作成するときに影響が出ており、普通交付税では平成15年度の決算見込みに対し、平成16年度の当初予算の見込みは前年対比で約5億5,000万円の減であり、臨時財政対策債においては前年度対比で約5億2,000万円の減とのことであります。反面、所得譲与税での収入増で1億500万円であります。国庫補助負担金の削減での影響度は、公立保育所運営費負担金等で約4,000万円、県の負担金の削減額については約980万円で、影響度の合計は10億1,600万円となり、平成16年度の当初予算を計上するときに影響が出ているとのことであります。

続きまして、三位一体改革において、藤岡市としてはどういう方向が望ましいか伺いたい。補助金申請の関係、補助金の枠の関係等、補助金が削減されるのであれば税源移譲がされることが市としては望ましいとのことでした。

3番目に、来年度予算については年末に地方財政計画が出て、それに従った財政運営をしていくことになり、新聞報道によれば前年度並みになると見ているようであるが、税源移譲の具体的な数字が一つもあられていない点で戸惑いが多く、それが具体的になるのはこの秋あたりと言われております。これでは予算が組めない事態になるのではないかと思うが、その辺りについてどのようなことなるのかお伺いしたい。平成17年度当初予算を組むに当たり、本年度と同じような影響額があると大変厳しい予算になると思われ、方針については昨年度から行財政改革により歳出の削減をしているが、そのような状況の中で一番懸念されることは普通交付税とその代替の臨時財政対策債の影響額が強くなること、財政調整基金の手当でしのいでいかなければならない状況になるとのことです。

委員から次のような意見がありました。藤岡市以外でも同じような状況があって、この

三位一体改革が完全にできないうちに地方の状況を国に意見として提出し、十分その意見を参考に考えてもらいたいということで、この陳情については本会議にかけていただき、国に上げる必要があるとの意見がありました。慎重審査の結果、全員をもって採択すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして本会議に付託を受けました陳情 1 件に対する審査の概要と結果についての報告を終わります。

議長（佐藤 淳君） 総務常任委員会委員長の報告が終わりました。

委員長報告に対し、質疑に入ります。ご質疑願います。

（「なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） お諮りいたします。質疑もないようでありますので、質疑を終結いたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） ご異議なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。陳情第 2 号地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情について、総務常任委員会委員長の報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（佐藤 淳君） 起立全員であります。よって、総務常任委員会委員長の報告のとおり決しました。

第 3 請願第 1 号 乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書提出の請願

議長（佐藤 淳君） 日程第 3、請願第 1 号乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書提出の請願を議題といたします。

教務厚生常任委員会委員長の報告を求めます。委員長冬木一俊君の登壇を願います。

（教務厚生常任委員会委員長 冬木一俊君登壇）

教務厚生常任委員会委員長（冬木一俊君） ご指名を受けましたので、去る 6 月 7 日の本会議において教務厚生常任委員会に付託されました請願 1 件に対する審査の概要と結果についてご報告申し上げます。

本委員会は、6 月 10 日、市長、助役並びに関係部課長の出席を求め委員会を開催し、

慎重審査したのであります。なお、本委員会として、この請願第1号の紹介議員であります清水保三議員にも出席を求め開催いたしました。

請願第1号乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書提出の請願についてご報告申し上げます。本請願は、新日本婦人の会藤岡支部、支部長渡辺マツ代氏より提出されたものであります。請願の趣旨は、少子化の背景の一つには子育てにお金がかかることがあります。若い世代は収入が低く、長引く不況と不安定な雇用のもとで医療費は大きな負担になっています。乳幼児医療費の助成は、子育ての経済的、心理的支援として重要な施策の一つであり、子供の医療費にかかる措置を国と自治体に求めています。安心して子供を産み育てることのできる社会への第一歩とするため、一日も早い国の乳幼児医療費無料制度の創設を求めるための請願であります。

質疑の主なものを申し上げます。この請願の提出団体の新日本婦人の会とは、どのような団体なのか伺いたい。新日本婦人の会の群馬支部の所在地は前橋市三河町にあり、生活の向上、婦人の権利、子供の幸せのために力を合わせる等の目的を掲げ、子育て支援などの活動を行っているとのことでした。

全国市長会が、この制度の創設を国に要望しているようだが、その要望の年月日と趣旨について伺いたい。市長会の全国組織である全国市長会においては、平成15年11月28日に関係省庁である厚生労働省に乳幼児医療費無料化制度の創設をしていただきたいという内容の要望書を提出しており、平成14年度も同様に行っているとのことでした。

群馬県へも県内の市長会から要望書が提出されていると思うが、その要望の年月日と趣旨について伺いたい。群馬県の市長会においては、平成15年12月3日に乳幼児医療費助成制度の拡大について（継続）という内容の要望書を提出しており、平成14年度も同様に行っているとのことでした。

この請願書の県内他市の取り扱い状況は、どのようになっているのか伺いたい。高崎市においては、平成15年6月定例会に陳情として提出され不採択になっている。その他の市については提出されていないとのことでした。

藤岡市における就学前の医療費無料化制度の対象人数と費用等について伺いたい。対象人数は、平成15年5月現在で、就学前の者が4,741人となっており、費用については平成15年度の実績見込みで入院における県の補助が1,206万2,000円、市の負担が1,334万3,000円で、合計2,540万5,000円となり、外来における県の補助が2,355万1,000円、市の負担が1億472万5,000円で、合計1億2,827万6,000円となる。入院と外来の合計として、県の補助が3,561万3,000円、市の負担が1億1,806万8,000円、合計で1億5,368万1,000円となるとのことでした。

委員から次のような意見がありました。藤岡市においても少子化の諸問題があり、この請願の趣旨等は理解していかなければならないところであるが、意見書を国に提出していくとなると、もう少し委員会として調査をする必要があることから、継続審査にさせていただきたい旨の意見がありました。慎重審査の結果、賛成全員をもって継続審査すべきものと決しました。

以上で請願第1号に対する審査の概要と結果について報告を終わります。

議長（佐藤 淳君） 教務厚生常任委員会委員長の報告が終わりました。

委員長報告に対し、質疑に入ります。ご質疑願います。

（「なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） お諮りいたします。質疑もないようですので、質疑を終結いたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） ご異議なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。請願第1号乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書提出の請願について、教務厚生常任委員会委員長の報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（佐藤 淳君） 起立多数であります。よって、教務厚生常任委員会委員長の報告のとおり決しました。

第4 議員提出議案第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

議長（佐藤 淳君） 日程第4、議員提出議案第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。提出者清水保三君の登壇を願います。

（20番 清水保三君登壇）

20番（清水保三君） 議長から登壇のお許しをいただきましたので、議員提出議案第1号地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について案文の朗読をもって提案理由の説明にかえさせていただきます。

地方財政の充実・強化を求める意見書（案）。2003年6月の閣議決定で、政府は20

06年度までに国庫補助負担金4兆円の廃止、縮減、税源移譲、地方交付税の総額抑制の三位一体改革を進めることを確認した。しかし、2004年3月26日に成立した2004年度政府予算は、国庫補助負担金の1兆円削減に対し、税源移譲については6,558億円にとどまっているなど、三位一体改革の初年度としては不十分なものである。

中でも、臨時財政対策債とあわせて今年度比12%のマイナスという地方交付税交付金の大幅な削減は、明らかに地方へのつけ回しであり、自治体の2004年度予算編成に大きく支障を来す事態となった。2004年度政府予算が、地方交付税総額の急激な削減を目指すあまり、財源保障と財政調整をあわせ持つ財政調整制度である地方交付税の役割を軽視し、自治体に混乱を生じさせる結果となったことは遺憾である。

2005年度予算については、6月3日の経済財政諮問会議で提示された骨太方針第4弾を受けて新年度概算予算作成が開始されることとなる。新年度予算における三位一体改革が、効率性や財政コスト削減という観点だけではなく、地域住民が安心して暮らすのに欠かせない事業の確保や公共サービスの持つセーフティネット機能が担保され、地方への負担の押しつけを行うことのないよう、国の関係機関等に対し、地方財政の充実・強化を目指す立場から次のことを強く求める。

記。1、2004年度予算における大幅な交付税削減が、自治体の予算編成に混乱を生じた結果を踏まえ、2005年度は地方財政再建と地方自立につながる財政改革を行うこと。2、税源移譲を進めたとしても自治体間の財政力格差は存在するため、地方交付税制度の財源保障と財政調整の機能を堅持し、地方交付税の「総額」は確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。平成16年6月21日、提出先、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣宛、藤岡市議会議長佐藤淳。

以上、提案理由の説明とさせていただきます。議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

議長（佐藤 淳君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ご質疑願います。

（「なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） お諮りいたします。質疑もないようでありますので、質疑を終結いたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（佐藤 淳君） ご異議なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議員提出議案第1号については、会議規則第36条第2項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(佐藤 淳君) ご異議なしと認めます。よって、議員提出議案第1号については委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(佐藤 淳君) 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

暫時休憩いたします。

午前10時36分休憩

午前10時37分再開

議長(佐藤 淳君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長(佐藤 淳君) 議員提出議案第1号地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について、本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

議長(佐藤 淳君) 起立全員であります。よって、議員提出議案第1号は原案のとおり可決されました。

閉会中の継続審査・調査の申し出の件

議長(佐藤 淳君) 各常任委員長・議会運営委員長及び特別委員長から、目下委員会において審査、調査中の事件につき、委員会条例第41条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査、調査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査、調査に付することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(佐藤 淳君) ご異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査、調査に付することに決しました。

閉会中継続審査・調査申出一覧表

番 号	件 名	委員会名	理 由
請 願 第1号	乳幼児医療費国庫負担制度の創設を 求める国への意見書提出の請願	教 務 厚 生 常任委員会	諸般の情勢から、なお慎重に審査 する必要があると認めるため

閉会中継続審査・調査申出一覧表

委 員 会 名	件 名
総 務 常 任 委 員 会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市有財産の管理状況について 2. 行政財政の実態について 3. 市行政の総合計画について 4. 交通安全施設について 5. その他所管に関する事項について
経 済 建 設 常 任 委 員 会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業振興対策について 2. 中小企業振興対策について 3. 商業振興対策について 4. 観光施設の整備拡充について 5. 道路及び橋梁整備について 6. 公営住宅事業について 7. 下水道施設の整備拡充について 8. 上水道施設の整備拡充について 9. その他所管に関する事項について

委 員 会 名	件 名
教 務 厚 生 常 任 委 員 会	1. 学校整備状況について 2. 社会教育施設の充実について 3. 社会福祉施設の充実について 4. 市税の適正課税について 5. 環境衛生施設の拡充について 6. 国民健康保険の実態について 7. その他所管に関する事項について
議 会 運 営 委 員 会	1. 議会の運営に関する事項について 2. 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項について 3. 議長の諮問に関する事項について
合 併 問 題 調 査 特 別 委 員 会	1. 藤岡市の合併問題に関する事項について

字 句 の 整 理 の 件

議 長（佐藤 淳君） お諮りいたします。本会議で議決されました議案については、会議規則第42条の規定に基づき、その条項・字句・数字等の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議 長（佐藤 淳君） ご異議なしと認めます。よって、条項・字句・数字等の整理は議長に委任することに決しました。

市 長 あ い さ つ

議 長（佐藤 淳君） この際、市長より発言を求められておりますので、これを許します。
市長の登壇を願います。

（市長 新井利明君登壇）

市 長（新井利明君） 平成16年第3回藤岡市議会定例会閉会に当たり、一言御礼のごあいさつを申し上げます。

本議会は、6月7日から本日まで15日間にわたり開催され、議員各位におかれましては大変ご多忙中のところ、多数の重要案件につきましてご審議いただき、ご決定くださいますことによりありがとうございました。

国が進めている三位一体改革、直面している市町村合併の推進と課題はありますが、住みやすい藤岡市建設のため議会と行政とがともに手を携えて努力していきたいと考えております。なお、議員各位より賜りました貴重なご意見の数々につきましては十分尊重し、市の発展と市民福祉の向上のため生かしていく所存でございます。議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、議員各位には健康に十分ご留意され、今後ともますますご活躍いただきますようご祈念申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

閉 会

議長（佐藤 淳君） 以上をもちまして本会議に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これにて平成16年第3回藤岡市議会定例会を閉会いたします。

午前10時41分閉会